

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



## 疫病の発生に注意しましょう!



【疫病】(Phytophthora sp.または Phytophthora cactorum)



初め、地際部の茎に暗褐色で水浸状の病斑を形成。急速に茎の上方へ拡大し、激しい場合は茎の先端付近まで侵す。病斑は葉柄茎部から葉に達し、暗褐色になり軟化腐敗する。病斑上には薄霜状の白いカビを生じる。根も褐色腐敗し、下葉から萎凋して枯死する。  
ポットマムに発生が多い。

### オラクル 顆粒水和剤

疫病/2,000倍土壤灌注/3回以内  
鉢上げ時又は鉢替え時又は生育期

※花き類・観葉植物  
(ポット・プランター等の容器栽培)登録



時期	IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	inochioキクッチャ粒剤	○	-	6~9kg/10a (作条土壤混和)	定植時	1回
生育初期	UN M03	白さび病	ジマンダイセンフロアブル	○	-	500~800倍	-	8回
	10A	ハダニ類	ニッソラン水和剤※1	-	-	2,000~3,000倍	-	2回
消灯時	39	うどんこ病・白さび病 アブラムシ類	ピリカット乳剤	○	-	白さび病・アブラムシ類:1,000倍 うどんこ病:2,000倍	発病・発生初期	6回
	6	アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック※2	-	-	500倍	発生初期	5回
発蕾時	11	白さび病	アミスター20フロアブル	○	○	2,000倍	発病初期	5回
	23	アブラムシ類・アザミウマ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	-	-	2,000倍	発生初期	3回
破蕾期	19	白さび病・うどんこ病※1 黒斑病※1・灰色かび病※1 アザミウマ類※1・ハダニ類※1	ポリオキシンAL水溶剤	○	○	2,500倍	発病・発生初期	8回
	25B	ハダニ類	ダニコングフロアブル※1	-	-	2,000倍	発生初期	1回

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があるためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※1:花き類・観葉植物登録  
※2:花き類・観葉植物(ガーベラを除く)登録

## 海藻サンバ

イノチオの新しいバイオステュミラント!

育苗期の発根促進剤

▶コリンによる光合成促進と発根促進

▶海藻エキスによる発根促進

▶転流を促進

挿し芽前どぶ漬け: 1,000倍液に浸漬処理

肥料登録番号 生第101491号



## リダバイタル

テンサイ糖蜜含有 植物性アミノ酸配合

低温障害を軽減 光合成促進

生育初期: 1,000倍

NPK  
7.5-5-4.5

